

編集後記

本号の特集テーマは「十二指腸主乳頭と副乳頭の病態に迫る」である。主乳頭と副乳頭の解剖、発生、副乳頭の臨床的意義、さらには乳頭部に発生する形態的、機能的異常に基づく疾患のすべてともいえる要素が9つの論文に纏められ、詳細に解説されている。

さて、肝胆膵分野の臨床や研究を目指す者にとって“乳頭部”は非常に興味深い部位でもあるが、取り扱いが非常に難解で厄介な場所でもある。粗野に取り扱うと重症膵炎にだってなる。筆者が胆膵を診療の主なテーマと決めた1970年後半に(主)乳頭部を見る手段は、今と比べ物にならない薄暗い十二指腸ファイバースコープであり、低緊張性十二指腸造影であった。当時、不慣れな者にとってはERCP施行時に乳頭を探すのに1時間以上要したことは稀ではなく、また後者のそれ専用に調整したバリウムで乳頭を正面視し、縦・横ひだ、小帯、開口部隆起を細部まで描出すると“神業”と言われたものである。

電子スコープの時代になると初心者でも乳頭を数分で見つけられるようになり、低緊張性十二指腸造影はほとんど顧みられなくなった。乳頭を詳細に観察するのに超音波内視鏡検査(EUS)が新たに加わり、また乳頭部と周辺臓器との関連を評価するためにはMD-CTやMRCPなどの画像診断も不可欠な検査法となった。これらの検査法とそれらを用いた生検手段を駆使すると、本号で取り上げられている乳頭部の形態学的変化をきたす疾患は、ほぼ確実に診断できる時代になった。

しかし、本号でも取り上げられている乳頭括約筋機能不全(SOD)はそうはいかない。筆者がCotton, Hawes両先生が率いるMUSCで胆膵内視鏡を見学していた時に、めったやたらに胆嚢のない患者に出くわした。そのような患者にはERCPを選択するのではなく、マイクロトランスデューサーを用いた内視鏡的な乳頭括約筋圧測定(SOM)が行われ、異常があるとその場で乳頭切開(EST)がされていた。右上腹部不定愁訴があり、器質的疾患のない患者にはまずラパコレが行われ、愁訴の続く患者にはSOM→ESTが行われていた。これら一連の医療の流れには何と乱暴な医療、何と痛みに弱い米国人かと当時は呆れたものである。しかし、久津見先生の論文にもあるように、FDやIBSは日本でも既に確立された疾患概念であり、毎日毎日何リットルの胆汁や膵液の排出を司る乳頭部の機能異常もないはずはないと考えると、日本人と言えども痛みに対しがまんを強いるのではなく、今こそ日本人らしいきめ細やかさでSODの診断に目を向けた診療・研究が切に望まれる。

(山雄健次)

編集顧問

編集幹事

編集委員

有山 襄	竹原 靖明	望月 福治
二村 雄次		
角谷 眞澄	神澤 輝実	工藤 正俊
国土 典宏	棚野 正人	真口 宏介
山雄 健次		
朝倉 徹	跡見 裕	猪狩 功遺
石川 洋子	市川 智章	伊東 克能
乾 和郎	今井 裕	植木 敏晴
太田 哲生	岡崎 和一	梶原 建熙
兼松 雅之	川崎 誠治	蒲田 敏文
鬼島 宏	木下 壽文	木村 理
熊田 卓	小井戸一光	坂元 亨宇
佐々木 洋	下瀬川 徹	須山 正文
高安 賢一	高山 忠利	竹内 和男
武田 和憲	田中 雅夫	土井隆一郎
長川 達哉	信川 文誠	長谷部 修
廣橋 伸治	本田 浩	眞栄城兼清
前谷 容	松井 修	村上 卓道
森 宣	森安 史典	柳澤 昭夫
山下 康行	山野 三紀	竜 崇正
渡辺 五朗		(五十音順)

掲載広告索引

(五十音順)

エーザイ(株)	表 2
オリンパスメディカルシステムズ(株)	469
大日本住友製薬(株)	表 4
東芝メディカルシステムズ(株)	表 3
ボストン・サイエンティフィックジャパン(株)	472

肝胆膵画像(第14巻第6号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03)3817-5714 (担当)藤田・能藤

FAX (03)3815-7802・3815-7982

E-mail: gazo@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kantansui/

2012年9月15日発行(隔月15日発行)

定価 4,095円(本体3,900円+税5%)

2012年年間購読料(送料弊社負担、税込み、増刊号を含む7冊)

冊子版 27,630円

電子版/個人 27,630円 電子版/共有 31,800円

冊子+電子版/個人 30,630円 冊子+電子版/共有 34,800円

☎ 販売部直通 (03)3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 (株)アイワード ☎(011)241-9341(代)

広告取扱 (株)文京メディカル ☎(03)3817-8036(代)

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. ©2012, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有いたします。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY <(株)出版者著作権管理機構 委託出版物>
- 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。